

分野	講座番号	講座名	時間	履修のねらい	
基礎	B-1	基礎研修（前編） ～被災者支援の心得～	18	被災者支援業務に関する基礎知識を学び、期待される役割について理解する。 演習（グループワーク）を通じて、被災者との信頼関係の構築と実態把握の方法や、コミュニティづくりにおける交流サロンの運営等の地域福祉活動の実践ノウハウを学ぶ。	
	B-2	基礎研修（後編） ～フォローアップ～	6	数ヶ月間の被災者支援業務経験をもとに、状況に応じた新たな支援方法や抱え込まない問題解決の実践力を養成する。	
専門	法律	L-1	被災者を取り巻く法律問題への対応	6	被災者が抱える二重ローン問題，相続問題，成年後見等の法律課題についての知識を学ぶ。 また，各地域の専門機関へのつなぎ方について確認する。
	高齢者	A-1	高齢者の理解と生活の支援	6	高齢者特有の健康問題や生活の支障を理解し，仮設住宅で暮らす高齢者を支援する上で必要となる基礎知識を習得する。 また，生活を支える高齢者福祉の諸制度を理解する。
		A-2	配慮を要する高齢者の対応	6	配慮が必要な高齢者の課題（要介護者，認知症，高齢者虐待問題等）を理解し，介護保険制度等の利用支援や関係機関（市町村，地域包括支援センター等）との連絡調整方法を習得する。 ※認知症サポーター養成講座を含む
	児童	C-1	子ども・家族への支援	6	環境が変わることで子どもたちが犠牲とならないよう，親と子ども両方への支援を行うために，子ども社会の現状を学び，予防策や，関係機関とその役割を知る。 傾聴トレーニングでは，子どもの話を聞くという行為（ロールプレイ）を通して，被災者など弱い立場の人に寄り添った話し方・聞き方を学ぶ。
	社会福祉総合	W-1	障害者の理解と社会福祉協議会の役割	6	障害者施策の概要と障害特性について理解し，障害者を支援する上での基本的な考え方を習得する。また，具体的な事例を通して，被災者の生活課題の解決のために，関係機関につなぐ力を身につけることをねらいとする。
W-2		仮設住宅入居者の生活から見えるもの	6	アルコール等の依存症対策について，阪神・淡路大震災における仮設住宅での孤立要因に対しての有効な支援方法を理解する。 また，既に実施されている被災市町の仮設住宅の見守り等で見えてきた課題と先進的な画期的な取り組み事例について学ぶ。	